

5・6年生の英語

第一小学校

第一小学校では授業中、又は授業外でいろいろな英語を学んでいます。学校のリーダーとして、第一小学校の5・6年生の子どもたちは低学年のみんなにとってもいい英語の勉強のしかたを見せています。私は英語をちゃんと覚えようとする、授業中だけだと足りないと思っています。



第一小学校と第一の5・6年生が授業内・外でとてもよく英語を勉強しています。



第一小学校一つのユニークのポイントは挨拶です。毎週の金曜日、児童会の5・6年生の子たちは改段の下で全生徒と全職員と英語で挨拶します。いつも100%英語で、いつも100%元気です。

それだけではなく、毎週金曜日に子どもたちが職員室に入りたいときは、英語で挨拶をしなければいけません。

職員室に入るときは、「グッドモーニング。 エクスキューズミー。 マイネイムイズ～」って言います。職員室から出るときは、「サンキューサー」って言います。お箸を忘れたときは英語で名前を書きます。時々、低学年の子たちは英語言うのを忘れてしまうときがあるけれど、5・6年生は自然に、すらすらと言います。

その上に第一小学校で毎週のレイディオタイムっていう昼の放送の番組があります。



毎週いろいろな学年から4人ゲストを呼び、新しい英単語を覚えるリーダーになってもらいます。今年、だいたい全員の6年生と多くの5年生が出たことがあります。すごく一生懸命頑張っている英語のリーダーになっています。

5年生の授業では Hi, Friends 1 っていう教科書を使って、よく進んでいます。この教科書がどっちかという、ちょっと簡単すぎるかもしれないです。いつも新しい単元に入ると、子どもたちがものすごく早く覚えてしまい、しぜんのように使うことができます。今習ってるところは「What's this?」です。そのしつもんを使い、自分が知ってる英語の言葉を使って、英語で言い方が知らない言葉を説明し、相手が理解できるように頑張っています。これはとても大事な勉強だと思います。なぜと言うと、どれぐらい英語を習うとしても、全ての言葉を知ることはないです。でも、外国人と話すとき、又は外国に行ったとき、なんとなく自分が



言いたいことを相手に理解してもらおうのがとても大切だと思います。これがコミュニケーションです。



6年生の授業では自分の1日の生活について英語で言えるように勉強しています。最初は1から60までの数字

を勉強し、時間を言えるようになりました。その次に何時に何をするかを言えるようになります。この前のレッスンは「行きたい国を紹介し、その行きたい理由を英語で発表しよう」でした。発表日はハロウィンだったので、発表は仮想を着ているまま発表しました。全員がとてもはっきりとぺらぺらに発表できました。自分の本当の理由もとても良く言えました。みんな頑張りました。



第一小学校の生徒たちは今までのように英語を楽しく勉強して欲しいと思っています。今までの付けた英語を話せる自身のまま、中学校、高校、将来まで進んで欲しいです。

レッツ エンジョイ イングリッシュ！

OK！